

インターバンクの声（2014年12月11日）

週初から続く中国の弱い経済指標の発表、そして上海総合指数も大幅に下げる場面もあって、年末も近いこの時期になってやはり中国景気の減速懸念が大きくなってきた。ネガティブな材料が出て来る時は得てして重なるもので、半ば忘れかけていたギリシャも再び政治的混乱に直面しているようだ。緊縮財政をめぐる議会の混乱、大統領選挙が17日に予定されている。原油安や円安ばかりに目が向いてしまっていた為に深刻さがあまり伝わって来なかったが、ギリシャは再びデフォルトとなる可能性すら排除できないようだ。一昨日は50ドル強の値下がりでも済んでいたニューヨーク・ダウも昨日は270ドル近くも値下がりして先程取引を終えた。先週末の米雇用統計の結果に沸き立った市場だったが、今週になってにわかに世界経済への先行き懸念が広がり始めた。利益確定の調整局面を強調する声も依然多いが、果たしてその見立てで良いのだろうか。来週の米FOMCの行方に大注目だ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。